



# 一般社団法人ラシク 045

2024(令和6)年度 事業計画書(案)



## 事業計画概要

新型コロナ感染の真ただ中で結成された当法人は、定例会自体はオンラインとリアル開催とを織り交ぜながらメンバー間の交流や見えたものをどう感じたか？を持ち合ってきた。その活動を通して、緩やかではあるが、設立当初からの理念「着火する、ラシク生きていく希望、自分を知る・気づく、感度をひきあげ、変容していく」の実現のために、課題解決型に終始せず、目的目標をあえて空洞にしながらかオモシロ、おかしく集っていくネットワークを目指してきている。

それぞれがそれぞれの区(場)でそれぞれに活動されているメンバーだからこそ、集った時にそれぞれのフィールドを持ち合い高め合える関係性を維持し、5年目の活動を目指してこうした新しいカタチのネットワークのあり方、継承のあり方も模索していきたい。

こども、子育てのあり方が大きく急ピッチで変化していく中で、多様な背景の市民で形成されている本ネットワークにおいては、市民および市民活動、地域に生活する視点を持ってその変化の様子を見つめ、「こうあって欲しい」という率直な願いを常に発信し、他社へ届けるための「ルート」となる機能の役割も果たしていきたい。

ドーナツ型で4象限をぐるぐる回しながら皆で種まき、皆で収穫した結果の横浜らしさを形作ることが我々自身の手でできるのだという実感をもってメンバーが繋がり合っていけることを5年目を迎える本年度の計画として改めて据えていきたい。

## 事業の説明 ～ラシク4象限を事業の柱に～

### 1. 人生100年時代 変わる未来のかたち

人生100年時代、子ども子育てにスポットがあたっている今だからこそ、子どもからの包摂社会を目指して全世代参画型社会の未来を描けるプラットフォームをラシクの活動を通じてあらゆる主体と協働で創ることを目的としたい。

まずは子ども子育て支援事業計画をはじめとする子ども・子育て支援に関わる行政計画策定プロセスにコミットしていく

横浜市子ども子育て支援事業計画については本年度が次期 5 年に向けた計画策定の年となる。子ども子育て会議に委員を2名選出している当法人としては、年数回の本会議だけで議論できないこと、子育て家庭当事者の意見や生の声をしっかり計画に反映していくこと、その代弁、中継ぎ機能を担うことを目的として引き続き活動していきたい。昨年度中期計画策定にコミットしてきた流れから「楽しいまちヨコハマ」の理念的深堀りをしていきたい。

- 1) 大事な私たちの税金の使い方＝予算の見方 給付と負担はセットである！  
こども青少年局企画調整課による恒例の予算説明会の開催 6/13
- 2) ヨコハマ市民版 子ども・子育て会議 当事者そして当事者支援をしている人の声を聴こう！  
年4回(5月、8月、11月、2月を予定)
- 3) 障がい福祉 横浜市福祉のまちづくり条例を紐解く

## 2. つながりの再編・再生に向けて

昨年度、種まきをしてきた多世代、多様な主体が参加しながらオモシロ、オカシク、ユニークな対話の実践を通して、さらにお互いの価値観、知らなかったことを知り、自身が豊かになり、未来を描くヒントやエッセンスが得られる「場」をつくることを目指す。

- 1) 世代を超えた新しい関係づくりを再編、再生する取り組みを行う。
- 2) 場の作り方そのものを市域の様々な場で広げ、誰にでもできるようなツールを発信する。
- 3) 全世代型ジェンダー意識から、多様性のオモシロさを知る  
第5次横浜市男女共同参画行動計画 ラシク版ジェンダーすごろく 広めて深めて多様な主体で気軽に気楽に考えられる機会と場をつくる。
- 4) 新高島地区旧アンパンマンミュージアム跡地の活用に向けた取り組みを行う  
新たな交流・発信拠点の形成段階においてみなとみらい 21 地区にクリエイティブな多様な人材交流を目指しイノベティブな活動を生み出す動きがスタートしている。この取り組みにおいて、市民としての地域や日常生活に根ざした提案を行う。

## 3. 心と体が動く体感・体験に向けて

ラシク4年目となり、昨年度からスタートした市内、先進的に活動している活動場所、メンバーが思いを持って実践している現場などに足を運んでいく。座学でなく実際に動いて次なるアウトプットを生み出す刺激になる心と体にピンとくる体感・体験的な取り組みを行う。

「いつかカタリバ」としてその時々に関心のある、またメンバーから挙げたテーマ案、例えば「学校にいきづらいこどもたち」「外国に繋がるサポートの実態」(案)を語り合う場づくりや、DO! 体現の象限ふさわしい、例えば「ラシク縁日(寺市)寄合いで1日持ち寄り遊び(案)」なども候補として挙げられているが2024年度は以下を進めていく。

- 1) DO! 体感 リラの家はじめ港南区ツアー
- 2) 設立5年目企画 市民協働の実践の蓄積において、市民から行政職員への敬意を込めた表彰プロジェクト「勝手にアワード」企画
- 3) プロジェクト「この指と～まれ!」企画 内側を向く会員同士の対話タイム
  - YONAYONA
  - ファシリテーションスキルを学びたい! プロジェクト
  - グラレコ学びたいシリーズ

## 4. その人のヒストリーからの収穫

活動する一人ひとりの背景、歴史に触れて、自分を振り返り、皆が時に「ほう!」と感嘆しそれぞれの人生から学べることを大事に、自分を振り返り、次の収穫につなげるような毎月の定例会でのセッションを進行当番を決めて活動する。

プロジェクトまでいなくても「その日その人が話したいこと!」「皆に聞いてみたいこと」「お願いしたいこと」など気軽に相談、依頼、共有、共感してもらいたい内容をトピックとして語り込んでいく場を作る。

## 5. その他

- 1) ラシクメンバー派遣したいのだけど・・・どうお!? 計画  
多様なスキルメンバーが集まる当法人の一人一人のバックボーンや活動実践をもとに、市内での市民および活動団体の応援をしたい! ということで HP 上でメンバーを派遣できる告知をしていきたい  
例:塚原さん(グラレコ)、稲田さん(権利とは?)、佐藤さん(インクルーシブとは)、植木さん(W ケア) 等
- 2) 団体紹介のための専用パンフをつくろう  
年内までに団体のパンフレットをデザイン制作して発行する

### 3)委嘱・委員会などの活動

名前	委員会名
横浜市福祉のまちづくり条例推進委員会 (小委員会、専門委員会を含む)	田之畑 有美
横浜市こども子育て会議 保育・教育部会 委員/児童福祉審議会	天明 美穂
横浜市こども子育て会議 子ども・子育て部会委員	金 明希
横浜市社会福祉協議会 福祉よこはま 編集委員会	金子 真澄
よこはま多世代・地域交流型住宅整備・運営事業者選定等委員会	佐藤 洋子
横浜市男女共同参画審議会委員	塚原 泉 ※NPO 法人親がめ
健康横浜 21 推進会議 食育推進検討部会	植木 美子